



就職難におい て

maro2k

1. [本文](#)

現在の桜は満開だ。

職安に行く途中、自衛隊駐屯地に咲いている桜だ。

思えば、今までいろいろな経験をしてきた。まずは、マルチメディアスクールWAVEは、ひたちなか市にあった職業訓練校である。

職業訓練校というのは、就職がない人や転職する人が一定期間その学校で目的を持って訓練するところで、マルチメディアスクールWAVEでは、自信ありげな40代女性の先生と20代の若い助手女性の先生で教室を運営してくれていました。自分なんかはパソコン初心者ではなく10年以上の間パソコンを使っていた経験もあって、パソコンは自由自在でしたが、中にはキーボードも打てない人なんかもいてそれを一派一絡げにしていくのは大変なことだと思われました。

朝、日直が二人交代で行われ、一日の目標をホワイトボードに書き司会を進めていく。二人組になって勝っても負けても万歳してヤッターというじゃんけんや、3分間スピーチ一人でみんなの前に立ち、なんでもいいのでスピーチを行う、しかし、三分間は過ぎなければならない。朝は、当番の人はみんな緊張して来るのである。

ある日のこと事件が起きる、先生が、一人の人のところに留まって30分も立ち話に興じてしまったのだ。パソコンができない人からブーイングが飛び、補助の先生が走り回るということがあった。これと、後に起こる事件とが絡んで40代の先生が泣いてみんなの前でわびるという事件に発展していく。

後に起こる事件とは、生徒の一人、一としよう、が、ある日車がなくて乗ってこれなくて、近くに住んでる生徒、二としよう、と一緒に乗せていってもらおうということがあった。基本的には学校に相乗りは禁止になってたのである。学校に来た二人は、相乗り気づいた先生に叱られた。二人ともその恐怖で車の中で泣いてしまったそうである。二人はその日は学校に残らず帰ってしまったということだ。

そんなことがあって、一は、パソコンができない人たちからブーイングが出た事件を使い復讐をしようとし、職業安定所に詰めかけ何回も抗議したそうである。ある日のこと40代の先生が元気がなさそうに学校に来ていた。授業中一、と二を呼び出しブーイングが出たことの事情を聞いていた本人は自覚がない様子で、責め立てられ、授業の最後に自分の能力のなさを吐露して泣き崩れてしまったのである。

次にいったスクールはCAパソコンスクールである。ここはパソコンができる人たちが多かった。水戸市にあり桜川に面したビルだった。二月から七月という六ヶ月に渡ってのホームページ制作とPHPというプログラム言語を使ったスクールであった。先生は、元鳶の先生で、ほとんど独学でwebを学習してきた男性の先生だった。サブの先生は若い女性の先生であった。

メインの先生は初めて教えるという先生で、その緊張がこちらにも伝わってくるような状態で始まった。テキストをベースにレベルの高い生徒を相手に淡々と授業を進めていった。質問も難しい点をつけてくるのも多く、後から聞いたところ胃が痛くて食事ものどに通らなかったということである。

そういった授業をしている間、3.11が起こったのである。3.11が起こった時間は、水戸から帰宅してちょうど家の車庫へ車を入れようとしているときに起こった。車が徐々に揺れ始め、周りの家の瓦が落ち始め車の中で揺れが収まるのをしばらく待った。それから車を車庫に入れ自分の家の塀が崩れ落ちたのを拾い集め家の中へ入った。家の中は散々たる状態であった。階段の途中の壁に飾ってあった絵画が無残にも落下し階段を塞いでいた。電気も来てなかったので掃除機もかけることもできず、本棚からは本がバラバラに飛び出し、本棚も倒れている状態だった。電気も水道もガスもライフラインが全て止まっている状態で、外に出たら、近所の人から外に出てきてこの救難所は高専だからね、早く行ったほうがいいよ。というので「後で行きます」といい、夜になって仕方なしに救難所に向かった。最初の晩に出されたのはお粥でお湯を入れればすぐお粥になるというものだった。

学校から電話があった。明日は休校だそうである。水郡線も常磐線も止まっていることから電車で来る人が後々考えると三ヶ月も来られなかった。水がない、というのが一番のやっかいな問題であった。電気が来れば井戸を引いてるので井戸の水が飲めるのであるが、電気が来ないので井戸の水も飲めない。近くの中学校で水を配布してるといので、並んだ二時間半並んで1リットルしかもらえなかった。学校はその後1週間休みであった。

3.11のあとで東京から来ていた学校の中継ぎ業者が辞めてしまったらしく、先生、補助の先生が辞めてしまわなければならなくなってしまい、学校存続の危機が訪れていた。後から聞いた話であるが、学校の方も辞めようと思ったそうである。結局、学校の事務局と先生の直接契約で、元の先生と新しいPHPの先生が来ることによって学校継続が決まった。学校の最後には、卒業制作発表と事務所おごりで、ホテルでランチを食べた。

その後、不動産スキル養成講座というのに通った。3.11の傷跡が色濃く残っている校舎であった。ファイナンシャルプランナー養成と宅建養成だった。そこでも面白いことがあった。主にビデオを見てその後に先生がコメントをするというスタイルで授業をするのであるのであるが、ビデオの先生の解説はいいのであるが、学校の先生の解説が下手というか間違っているのが多々あるのである。ある時、女性の生徒が「先生の解説わからない」「生徒Aさん」のほうに分かる、とってしまったのである。先生は逆切れで「それなら、わたしなんかより、Aさんに説明してもらえばいいんじゃない」と。その後から、先生の態度は激変し、それまで、テストは飲み物はしまってください。といったような態度だったのが、飲み物出しとくのは自由、テストの解答は生徒に答えさせてたのに全部自分で答え、テストの時間配分もいいかげんになっていった。ロビーでは、50代のおばさんの生徒が、「子供みたいねえ」といつてた。なんだかんだ言って、5ヶ月で卒業した。

そのあと、就職活動をしてるのだけれど2月に学校は終わってるのだけれど、4月の未だに就職がないんです。桜もちってからあるのかなあ~と思ってる今日この頃です。

1. [本文](#)

現在の桜は満開だ。

職安に行く途中、自衛隊駐屯地に咲いている桜だ。

思えば、今までいろいろな経験をしてきた。まずは、マルチメディアスクールWAVEは、ひたちなか市にあった職業訓練校である。

職業訓練校というのは、就職がない人や転職する人が一定期間その学校で目的を持って訓練するところで、マルチメディアスクールWAVEでは、自信ありげな40代女性の先生と20代の若い助手女性の先生で教室を運営してくれていました。自分なんかはパソコン初心者ではなく10年以上の間パソコンを使っていた経験もあって、パソコンは自由自在でしたが、中にはキーボードも打てない人なんかもいてそれを一派一絡げにしていくのは大変なことだと思われました。

朝、日直が二人交代で行われ、一日の目標をホワイトボードに書き司会を進めていく。二人組になって勝っても負けても万歳してヤッターというじゃんけんや、3分間スピーチ一人でみんなの前に立ち、なんでもいいのでスピーチを行う、しかし、三分間は過ぎなければならない。朝は、当番の人はみんな緊張して来るのである。

ある日のこと事件が起きる、先生が、一人の人のところに留まって30分も立ち話に興じてしまったのだ。パソコンができない人からブーイングが飛び、補助の先生が走り回ることがあった。これと、後に起こる事件とが絡んで40代の先生が泣いてみんなの前でわびるという事件に発展していく。

後に起こる事件とは、生徒の一人、一としよう、が、ある日車がなくて乗ってこれなくて、近くに住んでる生徒、二としよう、と一緒に乗せていってもらおうということがあった。基本的には学校に相乗りは禁止になってたのである。学校に来た二人は、相乗り気づいた先生に叱られた。二人ともその恐怖で車の中で泣いてしまったそうである。二人はその日は学校に残らず帰ってしまったということだ。

そんなことがあって、一は、パソコンができない人たちからブーイングが出た事件を使い復讐をしようとし、職業安定所に詰めかけ何回も抗議したそうである。ある日のこと40代の先生が元気がなさそうに学校に来ていた。授業中一、と二を呼び出しブーイングが出たことの事情を聞いていた本人は自覚がない様子で、責め立てられ、授業の最後に自分の能力のなさを吐露して泣き崩れてしまったのである。

次にいったスクールはCAパソコンスクールである。ここはパソコンができる人たちが多かった。水戸市にあり桜川に面したビルだった。二月から七月という六ヶ月に渡ってのホームページ制作とPHPというプログラム言語を使ったスクールであった。先生は、元鳶の先生で、ほとんど独学でwebを学習してきた男性の先生だった。サブの先生は若い女性の先生であった。

メインの先生は初めて教えるという先生で、その緊張がこちらにも伝わってくるような状態で始まった。テキストをベースにレベルの高い生徒を相手に淡々と授業を進めていった。質問も難しい点をついてくるのも多く、後から聞いたところ胃が痛くて食事ものどに通らなかったということである。

そういった授業をしている間、3.11が起こったのである。3.11が起こった時間は、水戸から帰宅してちょうど家の車庫へ車を入れようとしているときに起こった。車が徐々に揺れ始め、周りの家の瓦が落ち始め車の中で揺れが収まるのをしばらく待った。それから車を車庫に入れ自分の家の塀が崩れ落ちたのを拾い集め家の中へ入った。家の中は散々たる状態であった。階段の途中の壁に飾ってあった絵画が無残にも落下し階段を塞いでいた。電気も来てなかったので掃除機もかけることもできず、本棚からは本がバラバラに飛び出し、本棚も倒れている状態だった。電気も水道もガスもライフラインが全て止まっている状態で、外に出たら、近所の人から外に出てきてこの救難所は高専だからね、早く行ったほうがいいよ。というので「後で行きます」といい、夜になって仕方なしに救難所に向かった。最初の晩に出されたのはお粥でお湯を入れればすぐお粥になるというものだった。

学校から電話があった。明日は休校だそうである。水郡線も常磐線も止まっていることから電車で来る人が後々考えると三ヶ月も来られなかった。水がない、というのが一番のやっかいな問題であった。電気が来れば井戸を引いてるので井戸の水が飲めるのであるが、電気が来ないので井戸の水も飲めない。近くの中学校で水を配布してるといので、並んだ二時間半並んで1リットルしかもらえなかった。学校はその後1週間休みであった。

3.11のあとで東京から来ていた学校の中継ぎ業者が辞めてしまったらしく、先生、補助の先生が辞めてしまわなければならなくなってしまい、学校存続の危機が訪れていた。後から聞いた話であるが、学校の方も辞めようと思ったそうである。結局、学校の事務局と先生の直接契約で、元の先生と新しいPHPの先生が来ることによって学校継続が決まった。学校の最後には、卒業制作発表と事務所おごりで、ホテルでランチを食べた。

その後、不動産スキル養成講座というのに通った。3.11の傷跡が色濃く残っている校舎であった。ファイナンシャルプランナー養成と宅建養成だった。そこでも面白いことがあった。主にビデオを見てその後に先生がコメントをするというスタイルで授業をするのであるのであるが、ビデオの先生の解説はいいのであるが、学校の先生の解説が下手というか間違っているのが多々あるのである。ある時、女性の生徒が「先生の解説わからない」「生徒Aさん」のほうに分かる、とってしまったのである。先生は逆切れで「それなら、わたしなんかより、Aさんに説明してもらえばいいんじゃない」と。その後から、先生の態度は激変し、それまで、テストは飲み物はしまってください。といったような態度だったのが、飲み物出しとくのは自由、テストの解答は生徒に答えさせてたのに全部自分で答え、テストの時間配分もいいかげんになっていった。ロビーでは、50代のおばさんの生徒が、「子供みたいねえ」といつてた。なんだかんだ言って、5ヶ月で卒業した。

そのあと、就職活動をしてるのだけれど2月に学校は終わってるのだけれど、4月の未だに就職がないんです。桜もちってからあるのかなあ~と思ってる今日この頃です。

1. [本文](#)

現在の桜は満開だ。

職安に行く途中、自衛隊駐屯地に咲いている桜だ。

思えば、今までいろいろな経験をしてきた。まずは、マルチメディアスクールWAVEは、ひたちなか市にあった職業訓練校である。

職業訓練校というのは、就職がない人や転職する人が一定期間その学校で目的を持って訓練するところで、マルチメディアスクールWAVEでは、自信ありげな40代女性の先生と20代の若い助手女性の先生で教室を運営してくれていました。自分なんかはパソコン初心者ではなく10年以上の間パソコンを使っていた経験もあって、パソコンは自由自在でしたが、中にはキーボードも打てない人なんかもいてそれを一派一絡げにしていくのは大変なことだと思われました。

朝、日直が二人交代で行われ、一日の目標をホワイトボードに書き司会を進めていく。二人組になって勝っても負けても万歳してヤッターというじゃんけんや、3分間スピーチ一人でみんなの前に立ち、なんでもいいのでスピーチを行う、しかし、三分間は過ぎなければならない。朝は、当番の人はみんな緊張して来るのである。

ある日のこと事件が起きる、先生が、一人の人のところに留まって30分も立ち話に興じてしまったのだ。パソコンができない人からブーイングが飛び、補助の先生が走り回ることがあった。これと、後に起こる事件とが絡んで40代の先生が泣いてみんなの前でわびるという事件に発展していく。

後に起こる事件とは、生徒の一人、一としよう、が、ある日車がなくて乗ってこれなくて、近くに住んでる生徒、二としよう、と一緒に乗せていってもらおうということがあった。基本的には学校に相乗りは禁止になってたのである。学校に来た二人は、相乗り気づいた先生に叱られた。二人ともその恐怖で車の中で泣いてしまったそうである。二人はその日は学校に残らず帰ってしまったということだ。

そんなことがあって、一は、パソコンができない人たちからブーイングが出た事件を使い復讐をしようとし、職業安定所に詰めかけ何回も抗議したそうである。ある日のこと40代の先生が元気がなさそうに学校に来ていた。授業中一、と二を呼び出しブーイングが出たことの事情を聞いていた本人は自覚がない様子で、責め立てられ、授業の最後に自分の能力のなさを吐露して泣き崩れてしまったのである。

次にいったスクールはCAパソコンスクールである。ここはパソコンができる人たちが多かった。水戸市にあり桜川に面したビルだった。二月から七月という六ヶ月に渡ってのホームページ制作とPHPというプログラム言語を使ったスクールであった。先生は、元鳶の先生で、ほとんど独学でwebを学習してきた男性の先生だった。サブの先生は若い女性の先生であった。

メインの先生は初めて教えるという先生で、その緊張がこちらにも伝わってくるような状態で始まった。テキストをベースにレベルの高い生徒を相手に淡々と授業を進めていった。質問も難しい点をつけてくるのも多く、後から聞いたところ胃が痛くて食事ものどに通らなかったということである。

そういった授業をしている間、3.11が起こったのである。3.11が起こった時間は、水戸から帰宅してちょうど家の車庫へ車を入れようとしているときに起こった。車が徐々に揺れ始め、周りの家の瓦が落ち始め車の中で揺れが収まるのをしばらく待った。それから車を車庫に入れ自分の家の塀が崩れ落ちたのを拾い集め家の中へ入った。家の中は散々たる状態であった。階段の途中の壁に飾ってあった絵画が無残にも落下し階段を塞いでいた。電気も来てなかったので掃除機もかけることもできず、本棚からは本がバラバラに飛び出し、本棚も倒れている状態だった。電気も水道もガスもライフラインが全て止まっている状態で、外に出たら、近所の人が外に出てきてこの救難所は高専だからね、早く行ったほうがいいよ。というので「後で行きます」といい、夜になって仕方なしに救難所に向かった。最初の晩に出されたのはお粥でお湯を入れればすぐお粥になるというものだった。

学校から電話があった。明日は休校だそうである。水郡線も常磐線も止まっていることから電車で来る人が後々考えると三ヶ月も来られなかった。水がない、というのが一番のやっかいな問題であった。電気が来れば井戸を引いてるので井戸の水が飲めるのであるが、電気が来ないので井戸の水も飲めない。近くの中学校で水を配布してるといので、並んだ二時間半並んで1リットルしかもらえなかった。学校はその後1週間休みであった。

3.11のあとで東京から来ていた学校の中継ぎ業者が辞めてしまったらしく、先生、補助の先生が辞めてしまわなければならなくなってしまい、学校存続の危機が訪れていた。後から聞いた話であるが、学校の方も辞めようと思ったそうである。結局、学校の事務局と先生の直接契約で、元の先生と新しいPHPの先生が来ることによって学校継続が決まった。学校の最後には、卒業制作発表と事務所おごりで、ホテルでランチを食べた。

その後、不動産スキル養成講座というのに通った。3.11の傷跡が色濃く残っている校舎であった。ファイナンシャルプランナー養成と宅建養成だった。そこでも面白いことがあった。主にビデオを見てその後に先生がコメントをするというスタイルで授業をするのであるのであるが、ビデオの先生の解説はいいのであるが、学校の先生の解説が下手というか間違っているのが多々あるのである。ある時、女性の生徒が「先生の解説わからない」「生徒Aさん」のほうに分かる、とってしまったのである。先生は逆切れで「それなら、わたしなんかより、Aさんに説明してもらえばいいんじゃない」と。その後から、先生の態度は激変し、それまで、テストは飲み物はしまってください。といったような態度だったのが、飲み物出しとくのは自由、テストの解答は生徒に答えさせてたのに全部自分で答え、テストの時間配分もいいかげんになっていった。ロビーでは、50代のおばさんの生徒が、「子供みたいねえ」といつてた。なんだかんだ言って、5ヶ月で卒業した。

そのあと、就職活動をしてるのだけれど2月に学校は終わってるのだけれど、4月の未だに就職がないんです。桜もちってからあるのかなあ~と思ってる今日この頃です。